

当院で放射線治療を受けられた患者様へ

当院は、放射線治療症例全国登録（Japanese Radiation Oncology Database：JROD）に協力しております。この調査は放射線治療を受けられた患者様の診断、治療過程（外科手術、化学療法含む）とその結果とともに、施設の設備情報、放射線治療に関わる人員情報を全国規模で詳細に調査するものです。

この研究により、臨床治療面での全国的ながん診療評価、医療スタッフの業務負荷検証を行い、がん診療の改善点を明らかにして診療の質を向上させます。患者様により良い医療の提供を可能にします。さらに患者様と同じ病態について、現時点の全国レベル、地域レベルでの治療成績も提供できます。

この研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」により、対象となる患者さんのお一人ずつに直接説明を行った上で同意をいただく代わりに、研究内容の情報を公開することが必要とされております。

この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「**問い合わせ先：窓口**」へご照会ください。

もし、詳しいことをお知りになりたい場合には、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲で、より詳しい計画書や関連資料を閲覧いただくことができます。また、個人情報保護法に基づく開示・利用停止等の手続き等を希望される場合には、下記問い合わせ窓口へお申し出ください。

[研究課題名] 全国放射線治療症例に基づく放射線治療の実態調査および質評価
(実施期間：2015年8月1日～2023年3月31日)

[研究機関] 国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構 量子生命・医学部門QST病院、当院他

[研究責任者] 大場 久照 医療技術部医療情報室 室長

[協力/共同研究機関] 公益社団法人 日本放射線腫瘍学会

「これら外部機関に個人を識別できる情報が提供されることはありません」

[研究の目的] 本研究は、日本全国の放射線治療の基本的な構造および症例情報を収集・集計・分析し、その結果を医療施設に還元することで治療成績や効果の改善をはかり医療の質の向上に役立てると共に、広く国民に対し放射線治療方法の動向や現状などの情報を正確に開示することを目的とします。

[研究の方法・データの利用方法]

●対象となる方々 2014年1月1日～2021年12月31日の期間中に放射線治療を受けた患者様

●利用する情報及び利用方法

患者基本情報（匿名化）、病歴、所見、病期、治療情報、治療結果、予後情報、施設構造情報

・上記対象データを専用端末に収集し、匿名化（特定の個人を識別することができない）処理後、セキュリティ対策をした環境で量子生命・医学部門QST病院と共有させていただきます。

[個人情報の取り扱い]

収集する症例情報は、患者様個人を識別することができないように匿名化して扱います（病院ID、お名前削除）。また調査の過程で患者様を特定することはありません。（国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構個人情報保護規程に従い、資料の保管管理及び利用等に関する措置を行います。）

この研究にご自分のデータを使ってほしくない方（又は代理人の方）は、2023年3月31日までに下記窓口にお申し出くださるようお願い致します。ご自分のデータの使用をお断りになっても、治療に不利益を受けることはありません。

[問い合わせ先：窓口]

国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構
量子生命・医学部門QST病院医療技術部医療情報室
研究責任者：大場 久照
〒263-8555 千葉県千葉市稲毛区穴川4-9-1
☎ 043-382-8001（代表）（平日9:00～

[当院の窓口]

機関名 大阪国際がんセンター 放射線腫瘍科
当院の研究責任者 正岡 祥
〒541-8567 大阪市中央区大手前3-1-69
☎06-6945-1181